

平成 30 年 12 月 12 日

各 位

株式会社サーラコーポレーション
(コード番号 2734 東証・名証第一部)

本日、当社連結子会社である中部ガス株式会社及びガステックサービス株式会社が下記プレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

記

中部ガス株式会社・ガステックサービス株式会社 プレスリリース資料 (別紙)

「浜松市における電カスマートメーター通信システムを活用した
電力・水道・ガスの使用量データ収集に関する実証実験の開始について」

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

中部ガス株式会社・ガステックサービス株式会社
経営管理部総務グループ

TEL : 0532-51-1220

FAX : 0532-51-1145

Press Release

2018年12月12日

浜 松 市
中 部 電 力 株 式 会 社
中 部 ガ ス 株 式 会 社 ・
ガ ス テ ッ ク サ ー ビ ス 株 式 会 社
三 菱 商 事 株 式 会 社

浜松市における電力スマートメーター通信システムを活用した 電力・水道・ガスの使用量データ収集に関する実証実験の開始について

浜松市（市長：鈴木 康友）、中部電力株式会社（所在地：名古屋市東区、代表取締役社長：勝野 哲、以下「中部電力」）、サーラグループ中核会社の 中部ガス株式会社およびガステックサービス株式会社（所在地：愛知県豊橋市、代表取締役社長：鳥居 裕、以下「中部ガス・ガステックサービス」）および三菱商事株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：垣内 威彦、以下「三菱商事」）は、本日から2019年2月まで、中部電力の電力スマートメーター通信システムを活用した電力・水道・ガスの使用量データの遠隔収集に関する実証実験（以下、本実証実験）を浜松市内にて実施します。

浜松市では、「浜松市エネルギービジョン」に定めるエネルギーに対する不安のない強靱で低炭素な社会「浜松版スマートシティ」の実現を目指し、官民連携により様々なプロジェクトを研究しています。

こうした中、ICTを活用したスマート化は、人口減少・超高齢化社会において、エネルギー分野はもとより、広く市民生活の中でのイノベーションにつながる事が大いに期待されます。

本実証実験では、スマート事業の取り組みの根幹となる地域内の電力・水道・ガスの使用量データの収集に関して、低コストかつ効率的な通信ネットワークの構築の実現を目的に、浜松市内の戸建住宅に設置された電力・水道・都市ガス・LPガスの各メーターのデータ等を一元的に収集・管理するデータ収集システムの構築・検証を行います。

また、収集されたデータを用いて、より快適で便利な市民生活に寄与するデータ利活用・サービス提供の検討も進めてまいります。

浜松市および中部電力、中部ガス・ガステックサービス、三菱商事は、今後とも連携しながら、それぞれが保有するインフラや知見を組みあわせ、社会課題の解決に取り組んでまいります。

別紙 実証実験概要

以 上

<お問い合わせ先>

浜松市 産業部 エネルギー政策課（053）457-2503

中部電力株式会社 広報室 報道チーム（052）961-3582

中部ガス・ガステックサービス 経営管理部総務グループ（0532）51-1220

三菱商事株式会社 広報部 報道チーム（03）3210-2171

実証実験概要

1. 実証実験期間

2018年12月～2019年2月

期間	主な実施内容
12月～1月	フィールド実証でのデータ収集・技術検証
2月	業務効率化、データ活用の検証

2. 実証試験場所・対象

浜松市内の戸建住宅 5戸

3. 実証環境の全体像・検証項目

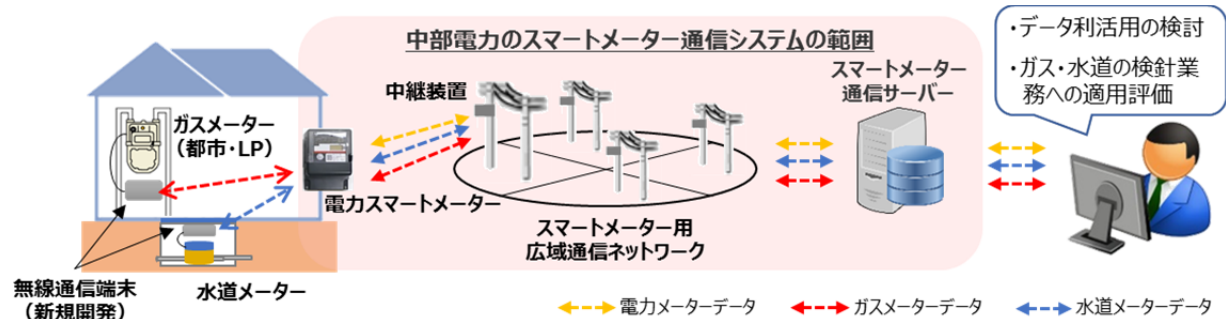
本実証では、ガスメーターおよび水道メーターの使用量データを、中部電力の電力スマートメーターに無線で送信できる装置を取り付け、電力スマートメーター通信システムを活用し、自動的に電力・ガス・水道の使用量データを収集します。

本実証における主な検証項目は、以下のとおりです。

<検証項目>

- 水道・ガスメーターと電力スマートメーター間の電波伝搬検証
- 電力・水道・ガスを組み合わせた新たなデータ利活用検討
- 水道・ガス事業者における検針業務への適合検討
(水道・ガスメーターのデータ収集・制御におけるレスポンスの評価等)

<実証環境の全体像>



<参考>実証場所における設備環境

